

HIO YOG 教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949(代)
【編集】教区基推委広報部

1992. 5. 57号

「もっと外での活躍を」

青僧会街頭伝道に市民反応

教区青年僧侶の会(増岡康信会長)では、会員による街頭伝道を、去る四月十四日、午後三時半から元町神戸大丸前で行った。この街頭伝道は、青年僧侶としての自己の研鑽・社会的な教化活動の実践という、青僧会発足の目的にそって昭和五十四年から続けられており、今年で十三年目となる。

今年の内容は、「気づき気づかさざれ」というテーマで、自分だけの思い込みで苦しんでいる私へのアミダ様のはたらきに、「ぜひ、あなたも一度アミダの願いに耳を傾けてみませんか？」と声をかけると目を閉じ、記者の質問にも終始無言の



道ゆく人に声をかけパンフを配る会員

中年の男性、「うちも本願寺です。帰って読みます」とパンフレットをカバンにしまう男性、毎月見慣れた顔を見つけた門徒の女性からは「今日は何ですか」と声をかけられ「若いご院さんたちは、こんなふうにもっと外へ出て活躍して欲しい」という感想も。また、通りかかった市内の住職さんからは「一年に何回くらいやっているのか」と質問されたり、帰りながら「衣に対する不信感を視線に感じたなあ」とつぶやく会員など、短い時間の間に会員らはさまざまな人と反応にであった。

同会の第二代会長、藤栄行信師(淡路組宣徳寺住職)は街頭伝道について次のように語った。「初代会長の頃から、姫路と三ノ宮で始められた。教学と行動とどちらを会の中心にするか話し合いながら意思統一をし、青年のできる実践として初めて試みだったので熱意があった。成果よりも、会員が活動を通して経験することが大切だった。市内の住職かたにもよく出合い、声をかけてもらいました」尚、今回配布したパンフレットご希望のかたは、教務所までご連絡ください。



昨今の異常気象にも況して、娑婆ではバブルの崩壊とやらで頓に騒々しい。とんだ今年の彼岸。「いとむ所何事ぞや。生をむきばり、利を求めて止む時なし。変化の理を知らねばなり。」(兼好)◆菩薩の仏にならんとて菩薩行をなす。行に自行と化他の行あり。その化他行に摂受(優しく導く)と折伏(厳しく導く)とあり、摂受の行に四摂法(四摂事)あり。即ち布施(施し与える)利行(他人のためになる行為)同事(他人と協力する)愛語(慈愛の言葉)あり。人を導く者、皆この四摂法の行に生きるものなり。己を初め宗教家たる者、殊に再認識が肝要◆わが聖人は「煩惱具足の凡夫、火宅無常の世界は、よろづのこと、みなもてそらごとたわごとまことあることなきに、たゞ念仏のみぞまことにておはします」と断言されている◆ドイツの哲学者ハイデッガーは、聖者親鸞の教えを世界に広める事が出来なかつたと慨嘆したとか。更に念仏弘通の精進を誓う、結岸である。(森田 紫雲)

別院・教務所の職務分担がかわりました

平成四年四月より、神戸別院・兵庫教区教務所の職務分担がかわりました。

- ▽輪番・所長 土基謙教
- ▽別院寺務・法務・教化業務主任、別院奉養会事務局 勝島徹正
- ▽教区相談員、基推委員会主幹、組巡教、仏婦、寺婦 赤松法雄
- ▽教区庶務事務主任、宗会選管 北村昌康
- ▽基推委社会福祉担当主任、総代会、スカウト、社推協、寺院子弟 安井秀顕
- ▽別院管理業務主任、別院会計 菅野弘和
- ▽基推委伝道教化担当主任、門徒推進員、矯正教化、保育 竹内英昭
- ▽基推委同朋運動担当主任、仏壯、布教団、江並教室庶務 尾井秀球
- ▽願記賦課手続き事務、青僧会、参与会 高藤昭文
- ▽教区会計、講社、寺院災害・福祉共済、豊岡教室庶務・法務 松濤了忍
- ▽基推委社会福祉補佐、仏青、少年、視聴覚、図書会計 岡崎信明
- ▽別院法務・視聴覚業務 門中浄光

四月一日付で岡本達美氏が札幌別院・北海道教区教務所に転勤。

新しく別院堂掌・教務所書記補として、内本隆宏氏が同日付で入所(写真)



内本氏が新職員に

敬 弔

荒田正念師(あらた・しようねん) 揖尾西組順正寺衆徒(三月二十四日、九才で往生。葬儀は三月二十六日。「祐信院釋正念」)

山西アイさん(やまにし・あい) 神戸湊組光明寺前坊寺(四月十三日、八十三才で往生。葬儀は四月十五日、光明寺で。「寶香院釋尼妙信」)

福岡房恵さん(ふくおか・ふさえ) 揖尾東組圓福寺前坊寺(四月十三日、八十九才で往生。葬儀は四月十五日、光明寺で。「寶香院釋尼妙信」)

藤川千秋師(ふじかわ・ちあき) 神戸東組西林寺住職(四月十八日、六十九才で往生。葬儀は四月二十一日、西林寺で。教務所賛事が達書伝達。「弘宣院釋千秋」)

昭和二十一年から任職在職四十六年。この間、昭和四十四年から副組長二期、同五十六年から組長二期、神戸真宗連盟常任理事、保護司などを勤めた。

都市開教を希望の方に

振興金庫申込はお早く

例年の通り京阪神都市圏における都市開教を促進するため財源対策の一貫として、都市開教振興金庫を設け貸付け申し込み者を募集しております。

なお、貸付け受け付けは平成四年四月より五月末日といたしますので、希望の方は別院内にある都市開教兵庫支部にお申し込み下さい。くわしい貸付け要項を送ります。

(事務局)

名誉総裁さま迎え、慶びの仏婦

揖竜東組圓福寺の五周年大会

揖竜東組圓福寺(福岡智孝住職)では、仏教婦人会結成五周年記念大会を去る四月二十一日、仏婦総連盟名誉総裁さまをお迎えして開催し、二百五十人の参詣で本堂は満堂となった。

仏婦会長の安永ゆりさんは「私たちの先祖も、尼講・同朋会を結成して、仏の子どもを育ててきた。私たちも仏教婦人としての自覚のもと、研鑽に勤める日々を送りたい」とあいさつ。

名誉総裁さまは、先の総連盟総会で訴えたかったことのひとつとして「ある歴史学者のかたは、恵信尼さまと親鸞さまの信心は違う



式典での名誉総裁さま

と書いておられますが、親鸞聖人は変成男子の事をあまりお取り上げにならず、男女の違いをあまり問題にしていらつしやらないのではないのでしょうか」と男性中心の社会と最近の女性の姿を取り上げながら「仏婦の集まりを通して信心をいただくことが大切」とお言葉。

副住職の福岡光哉師は「先日亡くなった前坊守が、なんと名誉総裁さまをお迎えしたいと願っていました。多くの人に何度も準備の会合で集まっていたのだおかげで今日を迎えることができました」と苦勞を振り返りながら話していた。

華やかに落慶法要

揖竜東組源徳寺 播磨東組蓮光寺

揖竜東組源徳寺(和田智浄住職)の本堂・山門・鐘樓堂改築落成慶讃法要が去る四月五日に行われ、教務所長が出席し祝辞を伝達した。当日は二百五十五人の稚児が参加しての「お練り」が法要に華やかさをそえ、久堀弘義師が記念講演を行った。

同寺仏婦会長の福島佐津喜さんは「念願がかなって

桜の花とともに迎えられた落慶法要でした。稚児たちには仏縁あれと念じながら本堂に入りました」と慶びを話っていた。

播磨東組蓮光寺(藤堂憲昭住職)では四月二十九日、本堂改築落成記念、宗祖御誕生八百年・立教開宗七百五十周年の慶讃法要が勤められた。

法要委員長の山本登至也氏は「前任職とは友達で、子どもの頃やんちゃをした仲です。また、前々住職には、おんぶしてもらったことが昨日のこのように思い出されます。ご縁ですから」と住職の人柄を思いながら話していた。

お稚児さんの行列が、法要に華やかな雰囲気を与えていた。

「仏青革命」へ方法論

HOPE



お勤めをする寺院子弟

かれさま◆4月1日||成徳学園理事會に教務所長出席

◆3月25日||別院・教務所職員會議◆26日||都市開教部會を別院で。三年度反省と新年度について◆27日||組長會を別院で。教区會議事報告、新年度基幹運動計画、仏婦・寺婦・社推委員改選について他◆27日||28日||寺院子弟研修會を別院で。「たくさん友達をつくりたい」と増井浄子さん(赤穂北組淨蓮寺)◆28日||岡山南組教徳寺落慶法要に教務所長出席。祝辞伝達。廣田貴之住職への宗派褒賞も伝達されました◆28日||31日||教区スキーツアーを志賀高原一ノ瀬スキー場で。雨ふりの中を二十七人が元気にシーズン最後を楽しみました◆30日||別院財産管理委員會◆仏婦常任委員會を別院で。総連盟總會と平和の日の集い参加について他◆31日||奈良教区三山組仏婦八十人が別院団參。団參と重なってテレビ取材も本堂での大がかりな取材を予想していたら、外観を撮って五分ほどで終了。おつ

◆2日||基推委員長・副會長が新年度基幹運動推進について別院で會議◆3日||愛生園から大谷本廟へ納骨參拜。教務所からも担当者が參拜◆4日||第一土曜仏教講座を別院で。講師は山田行雄師(岐阜教育大学教授)◆テーマは「念仏のころ」◆5日||奈良教区吉野東組から仏壯約三十人が別院団參◆揖竜東組源徳寺の落慶法要に教務所長出席。祝辞伝達◆6日||保育連盟役員會を別院で◆7日||別院仏婦總會◆別院仏婦定例法座。講師は本川英暁師(神戸中組西方寺)◆布教団・青僧會合同研修會について

の打合せを別院で◆8日||門徒推進員新旧役員會を別院で◆8日||10日||教区相談員研修會を大谷本廟で◆赤松相談員出席◆10日||少年連盟役員會を別院で◆須磨の浦女子高校入学式に教務所長出席。本山からの祝辞伝達◆11日||滋賀教区滋賀組本福寺から別院団參◆11日||12日||青年教化連絡協議會を京都で。教区から仏青代表3人と担当者出席。各教区からの問題提起の後、別院で「仏青革命」と題して、勧誘方法・例会・研修會の方法等について協議し、夕食をとりながらの発表。翌日は本山晨朝參拜の後、トロッコ電車に乗り、嵐山散策で解散。尚、近畿プロック仏青研修會が滋賀で、十月三・四日に開催されますので参加をお願いします◆12日||仏壮理事會を別院で。前年度の行事報告と今年度行事について。特に、總會の持ち方やプロック研修會については、本年度總會は五月三十一日の理事會を總會とし、大会は岡山プロックの担当で秋に開催予定となった。また、プロック研修會は、阪神・神戸プロックが六月二十一日、東

赤穂北組慈眼寺住職

まつ 田 義 孝 さん



の出会いから剣道の道一筋を進むこととなり、手ほどきを受けた。

「剣道をしてよかったことは」の問いに、「師と仰げる人に多く出会えたこと。人生の節目ごとに師との出会いがあり、特に、龍谷大



七段 先手の本願

「先手の先、先手のご本願」剣道の極意はこれしかないという、この言葉。

小学校四年生の時、柔道をしたかったけれど、お父さんから渡されたのは剣道着だった。長専寺前住職と

う。剣道の経歴(剣歴)の正しいこと、指導力のあること、私欲のないこと、この三つが揃った人を師匠と仰ぎ、ひとつでも欠けたら師匠とは仰いで貰えない、という意味を教えられ、私は特に注意するよう諭されたそう。

「剣道をして苦しいことは、ひとつもなかった。しんどいことはあった」という松田住職の目には、警察官以外では県下で初めて、三十三歳で教士七段を取った自信がうかがわれる。

教区青年僧侶の會・初代会長として、以後教区で活躍する若い力を育てた経歴を持つ。

昭和四十九年に住職となり、相生市の少年輔導員も勤め、同市防犯協會・若竹會剣道部の顧問でもある。また、カメラ、ビデオなどの視覚にも精通し、念珠修理もこなす。

全日本剣道連盟の元副會長であった結城令聞師の言葉が「先手の先、先手のご本願」であった。結城師からも大きな影響を受けた。

「今は法務が忙しく、剣道に熱中していた頃はもつとはつらつとしていましたよ」とは坊守の典子さん。(広報部)

播七月五日、丹波・但馬八月二十三日、西播・姫路八月三十日の開催予定。他の行事では、幹部研修會を十一月までに、大谷一泊研修會を来年の三月に計画した

◆13日||14日||教区基推委員長研修會を本山で。教務所長出席◆14日||蓮如上人五百回忌法要立札式を本山で。教務所長出席◆青年僧侶の會街頭伝道を元町・神戸大丸前で◆14日||16日||別院常例法座。講師は杉本昭典師(北摂組光澤寺)◆15日||別院・教務所職員會議◆16日||揖竜東組圓福寺前坊守、福岡房恵さんの葬儀に教務所長參列・達書伝達◆17日||保育連盟總會を別院で◆ビハーラ実践活動研究

の修了者大会について◆21日||少年連盟總會を別院で。前年度行事・決算報告、本年度行事・予算案、役員改選などについて。新委員長は楠哲雄師(赤穂南組永應寺)◆仏婦總連盟名誉総裁さまをお迎えしての、揖竜東組圓福寺仏教婦人会結成五周年記念大会に教務所長出席◆神戸東組西林寺住職、藤川千秋師の葬儀に赤松賛事參列・達書伝達◆22日||24日||推進専任員研修會を大谷本廟で。教務所から専任員四人が出席。本年度基幹運動計画、僧侶研修、各部署との協議など。僧侶研修については「同朋三者懇話會」で提起された教学課題(真俗二諦・業・信心の社会性)についての研修資料を学んでの問題提起、班別討議が真剣に行われた◆23日||本願寺神戸別院改築・兵庫教区教化センター設立、建設・推進委員會を別院で。委嘱状交付、委員會役員選出、常任委員の選出などについて。午後からは常任委員會が持たれ、広報・財務・建築の各部会について協議。

別院建設 委員会を委嘱



ウェディングドレスで仏前結婚式

本願寺神戸別院改築 建設 答申書の内容

五十五号に既報の通り、兵庫教区教化センター設立・本願寺神戸別院改築総合計画答申書が二月二十六日教務所長に提出された。答申書及び、その後の経過について報告します。

答申書

「兵庫教区教化センター設立」委員会

委員長 田中法劔

本委員会は、平成二年十月十七日、貴職より委嘱を受けて以来「兵庫教区教化センター設立について」検討を重ね審議の結果、別紙のとおり答申いたします。ついては、この答申書を最大限尊重され、速やかに教化センター設立に向けて具体化されますよう、要請いたします。

〔前文〕

本委員会は、平成二年九月二十八日の臨時教区会で議決した「兵庫教区教化センター設立委員会設置」の区令に基き設置された委員会であるが、平成二年十月十七日貴職から、本願寺神戸別院の施設老朽化に伴い

境内地模様替え並びに「兵庫教区教化センター」設立について諮問を受けた。よって、本委員会は本件について調査、審議の結果、次の過程と内容をもって、この答申書作成をみたのである。

去る、昭和三十五年十月一日付けをもって、兵庫教区教務所が本願寺神戸別院内に併設された。以来兵庫

いて強力に取り組むためには、現状の老朽化した別院施設では、極めて困難である。以上の経緯をへて、本委員会は、諮問の趣旨をふまえて、あらゆる角度から調査・研究・審議を重ねて来た。またその間、組長会・教区会及び教区選出宗会議員等、それぞれの立場で協議会をもち、教区内各地区

く要請する次第である。「兵庫教区教化センター構想」神戸別院機能の拡充・教区教化の充実及び基幹運動の推進をはかるため、次の諸機能を発揮できる施設を併設する。そのため、教区全寺院の協力事業として推進する。

- ⑩職員宿舎を併設
- ⑪駐車場の完備
- 〔建築面積〕
 - 本館棟・東・西棟（棟屋一階・地上五階・地下二階）二千六百六十二・八一坪
 - 役宅棟（棟屋一階・地上五階・地下一階）二百八十八・三二坪 合計二千四百五十一・一三坪
- 〔総合計画実施期間〕平成四年四月一日～平成七年三月三十一日（三会計年度）

的構想のもとに、基幹運動の推進と教化伝道の充実をはかるとともに、宗務の運営を円滑にし、且つ、宗門をとりまく内外の要請に対応するため、兵庫教区の伝道教化活動の拠点とする趣願の本願寺神戸別院改築・兵庫教区教化センター設立・建設委員会規則案について説明、審議の後承認された。

直属寺院財産管理委員会を三月三十日に開催することと決定。（三月十一日）

教化諸機能を充実 7階・延べ2千4百坪

経過

- ②門信徒教化にかかわる講堂・宿泊施設の整備
- ③年中布教の場として「研修施設（年中布教及び人生相談所）」を開設
- ④パソコン通信ネットワークの確立
- ⑤教材の整備と充実
- ⑥時代に即応した、仏事及び文化教室の開催可能な施設を設置
- ⑦冠婚葬祭施設の完備
- ⑧「モダン寺納骨所」を設置
- ⑨事務所・会議室及び教室等の施設

教化センター三役会
本願寺神戸別院改築・兵庫教区教化センター設立・建設委員会規則案、兵庫教区教化センター推進委員会規則案、収支予算、建設委員会委員構成について協議。

（三月十八日）
平成三年度定期教区会
法規議案の兵庫教区教化センター推進委員会規則案について「法規議案提出の趣旨は、教区ならびに神戸別院の将来を展望し、教区教化センターとしての機能を持つ別院の建築を計ろうとするものである。この区令案は教区教化センターを建築するための推進委員会

しかしながら、時代の推移とともに、現在の教区・別院の事情は急速な社会変動の中では充分に対応が出来ず、基幹運動推進上においても充分にその成果を発揮できない現状である。この実状のなかで教区並びに別院がこれらの諸問題につ

別に説明会を開き、あるいは教区内全ヶ寺の総代を対象とした研修会等においても具体的な意見を聴取して再度慎重に審議を重ねた。以上のような経過をもって、教区内各層の意見を基礎にして作成したこの答申は、将来の教区の伝道教化の中心的存在として、また都市開教の拠点的作用を果たすセンターとして、その機能が十分に揮われ、もって基幹運動を強力に推進して行くのにふさわしい別院施設が建設されることを強

別院責務総代会
兵庫教区教化センター設立委員会答申書に基づいて、「本願寺神戸別院及び兵庫教区の将来を展望する長期

別院の将来を展望し、教区教化センターとしての機能を持つ別院の建築を計ろうとするものである。この区令案は教区教化センターを建築するための推進委員会

兵庫教区教化センター設立 本願寺神戸別院改築 諸経費収支計画予算案

| 収入 | (単位:万円) | 説明 |
|-----------|----------|---|
| 教区寺院懇志 | 900,00 | 本山永代経扱(院号)に準ずる |
| 寺院依頼懇志 | 200,00 | 教区内寺院に依頼 |
| 寺院協賛懇志 | 700,00 | 別院へ永代経上納依頼(永代経扱) |
| 別院懇志 | 100,00 | |
| 別院門信徒懇志 | 100,00 | |
| 特別懇志 | 100,00 | |
| 特別懇志 | 100,00 | 篤志(参与、諸役、企業)教化団体 |
| 納骨所懇志 | 1,000,00 | |
| 納骨所使用懇志 | 1,000,00 | 特別区画(100基×300万) 普通区画(400基×150万) 小型区画(200基×50万) 合計 700基 (大きさは大谷本廟に準ずる) |
| 助成金 | 150,00 | |
| 本山助成金 | 150,00 | 宗派直屬寺院振興金庫より |
| 回金 | 14,00 | |
| 神戸別院積立金回金 | 14,00 | 特別会計神戸別院積立金会計より |
| 雑収入 | 10,00 | |
| 雑収入 | 10,00 | 預金利息 |
| 収入合計 | 2,274,00 | |
| 支出 | | |
| 建築費 | 1,700,00 | |
| 建築及び設計管理費 | 1,700,00 | 本工事、設計管理 付帯工事(納骨所含む)備品 |
| 勸励費 | 404,70 | |
| 奨励費 | 326,00 | 奨励の為の諸費 |
| 御扱費 | 8,70 | 扱物品調達費 永代経院号扱式章作成費 |
| 院号冥加金 | 70,00 | 本山へ院号下付事務費として10% |
| 事務所費 | 80,00 | |
| 事務所費 | 80,00 | 趣意書、完納寺院記念品費 事務諸費 |
| 予備費 | 89,30 | |
| 予備費 | 89,30 | 既存建物解体費含む |
| 支出合計 | 2,274,00 | |

設置に関わる必要措置であり、教区の伝道教化センター体制を確立するための総合計画の一環として設置されるもの」と趣旨が説明された。その後、区令案と総合計画に関する質疑が行われ、可決された。(区令施行は四月一日)

これを受けて「教区会議員全員が強力で推進する」との決意表明があり、閉会となった。(三月二十四日)

組長 会
教区会議事報告のなかで区令について説明された。(三月二十七日)

別院財産管理委員会
本願寺神戸別院境内建物の除却・新築について審議の結果、全員異議なく了承

①計画期間
平成四年四月一日～平成七年三月三十一日(第一期計画期間：平成四年度については、募財期間)(第二期計画期間：平成五年度～六年度の二年間については建築期間)

②計画内容
除却・新築の表示、概算工事費、工事予定期間などを検討。(三月三十日)

本願寺神戸別院改築・兵庫教区教化センター設立建設・推進委員会三役会
委員会運営、人選について協議。(四月二十日)

本願寺神戸別院改築・兵庫教区教化センター設立建設・推進委員会
百七十六名の委員に委嘱状が交付され、委員長、副委員長らの常任委員及び、顧問が選出された。(委員長、副委員長らの常任委員及び、顧問は別記)

今後の進め方については、広報、財務、建築に別れて各部会で検討した案を総務部会にかけ、常任委員会の上に建設・推進委員会を持って決定していくことが確認された。また、ご門主様のご認許をいただいた後に

教区内全寺院、門信徒にパンフレットを配布する予定となった。

募財について、五月からご認許になるまでの間、諸懇志に対する仮受納を行い、

ご認許がおりしだい本領収並びにお扱いを交付すること、仮建設事務所を神戸別院に設置することなども委員会で話し合われた。(四月二十三日)

**本願寺神戸別院改築
兵庫教区教化センター設立
建設・推進委員会常任委員
敬称略**

- ◎ 浅井 幸憲 (3号委員)
- ◎ 足利 孝之 (4号委員)
- ◎ 藤栄 行信 (4号委員)
- ◎ 松井 芳子 (4号委員)
- ◎ 井上 英樹 (4号委員)
- ◎ 桑田 勇 (4号委員)
- ◎ 増岡 康信 (4号委員)
- ◎ 西池 哲俊 (5号委員)
- ◎ 岸田伊兵衛 (1号委員)
- ◎ 森 和子 (1号委員)
- ◎ 雲山 豊 (2号委員)
- ◎ 多田 実 (2号委員)
- ◎ 瑞穂 光信 (3号委員)
- ◎ 本川 智暁 (3号委員)
- ◎ 藤野 昌俊 (3号委員)
- ◎ 小松 勝昭 (3号委員)
- ◎ 楠 万千雄 (3号委員)
- ◎ 光森 宣明 (4号委員)
- ◎ 中尾 勝 (4号委員)
- ◎ 松島 法城 (4号委員)
- ◎ 川端 正道 (4号委員)
- ◎ 片山 寛延 (1号委員)
- ◎ 清元 功章 (1号委員)
- ◎ 奥嶋 顕彰 (2号委員)
- ◎ 石田 哲雄 (2号委員)
- ◎ 中西 正一 (2号委員)
- ◎ 軌保 孝昌 (2号委員)
- ◎ 藤 宏隆 (3号委員)
- ◎ 山崎 一朗 (3号委員)
- ◎ 藤丸 顕雄 (3号委員)
- ◎ 太田 唯念 (4号委員)
- ◎ 坂元 一美 (4号委員)
- ◎ 辻岡 武子 (4号委員)
- ◎ 杉本 昭典 (5号委員)
- ◎ 部会長
- ◎ 副部会長